



# こうのとりのゆりかご

～赤ちゃんポストを全国に～

熊本学園大学附属高等学校2年



## 研究の目的・背景・仮説 (Introduction)

諸事情のために育てることの出来ない赤ちゃんを親が匿名で託すための施設を**赤ちゃんポスト**といいます。現在、日本には熊本と北海道の2ヶ所があり、熊本の慈恵病院では「**こうのとりのゆりかご**」と呼ばれています。

「**こうのとりのゆりかご**」は、同病院一階の東側に設けられており、外壁に高さ50センチ、幅58センチの窓があり、引き戸を開けて建物内部にある専用の保育器に赤ちゃんを預け入れます。赤ちゃんが預けられると、窓口の扉は自動ロックされ外からは開かなくなり、産婦人科のナースステーションと新生児室に設けられたブザーが鳴ります。その後、赤ちゃんは医師による健康チェックを受け、乳児院や児童養護施設に預けられます。

熊本でこのような活動が行われているからこそ、私たちは**こうのとりのゆりかご**について深く知る必要があると思いました。そこで近年増加傾向のある「**児童虐待**」と結びつけ、「**こうのとりのゆりかご**に預けることによって児童虐待を減らすことができる」という仮説を立てて研究を進めました。

## 材料と方法 (Materials and Methods)

まず「**こうのとりのゆりかご**」がどのくらい知られているのかを調べるため、私達は高校2年生の生徒を対象にgoogleフォームでアンケートを実施することにしました。

### アンケートの内容

- 1「**こうのとりのゆりかご**」について知っているか
- 2「**こうのとりのゆりかご**」を増やすべきか
- 3 子供を「**こうのとりのゆりかご**」に預けることについて賛成か反対か

この3つの質問に対して理由とともに書いてもらいました。

次に「**児童虐待**」と「**こうのとりのゆりかご**」の関係を考えるため、児童虐待の現状について調べました。

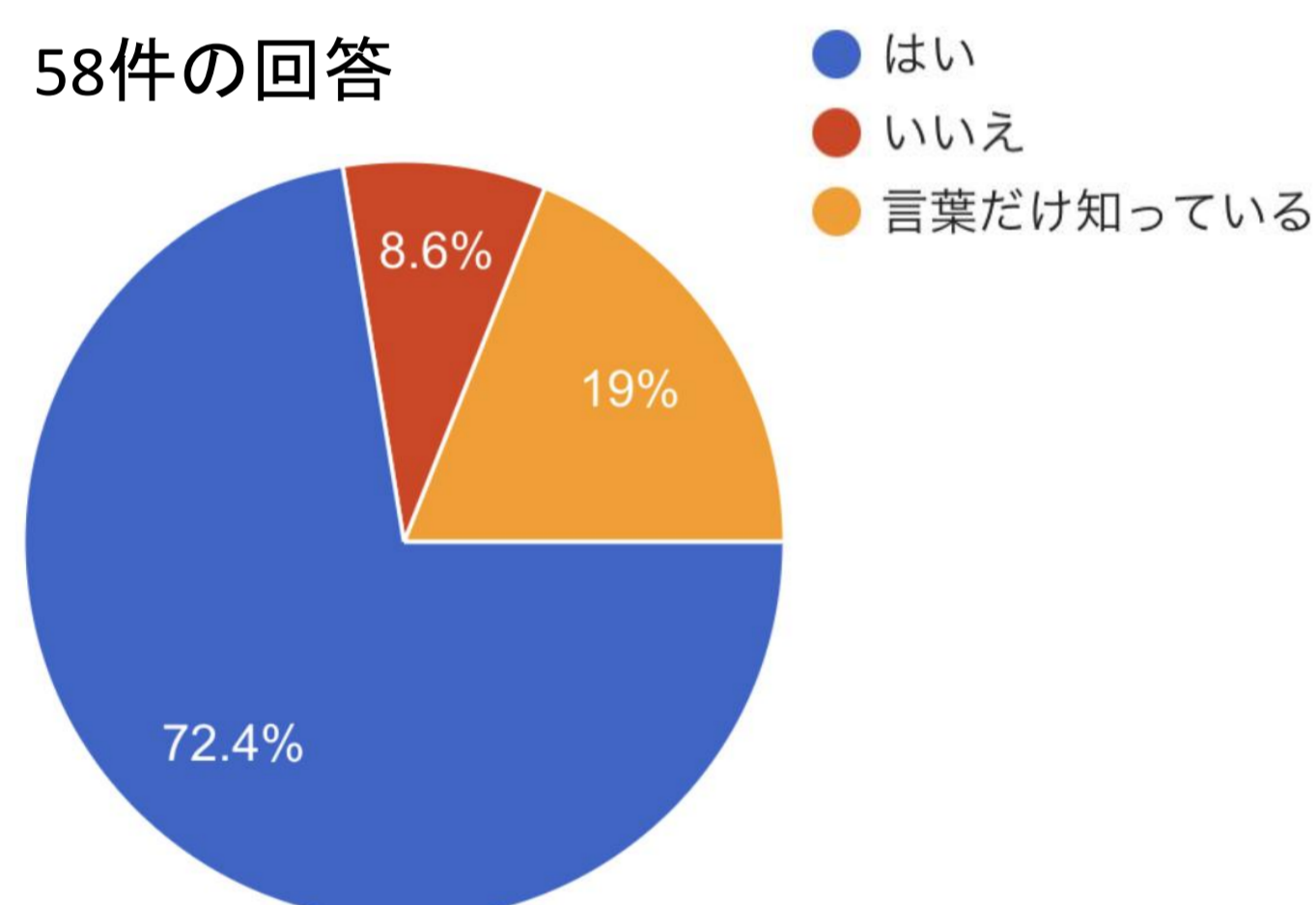
**方法**：インターネットを利用して、児童虐待の増減や児童虐待を防ぎ、虐待死を減らすためにいま、現在行われている対策について調べる。

**資料**：「児童相談所が対応した児童虐待件数と虐待死した児童数」(厚生労働省調べ)

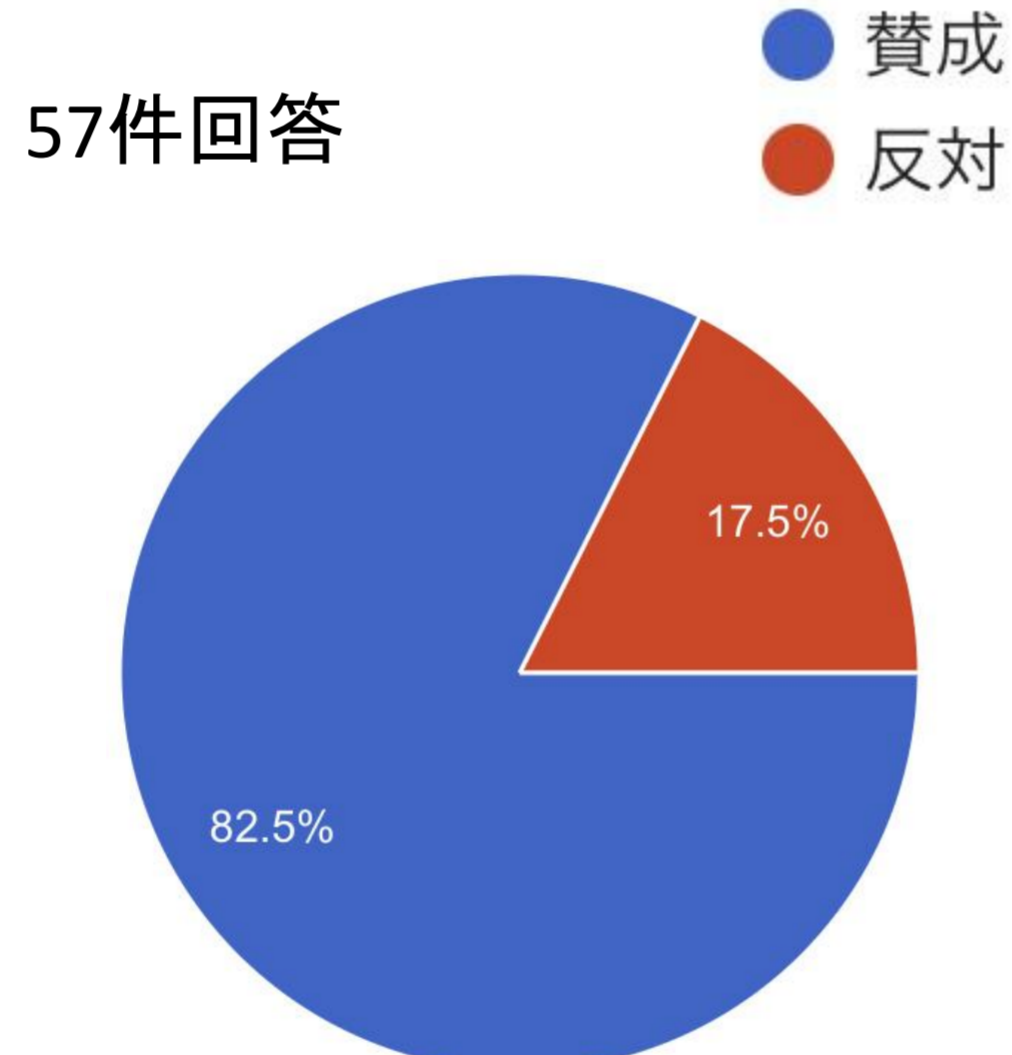
## 結果 (Results)

### 結果①

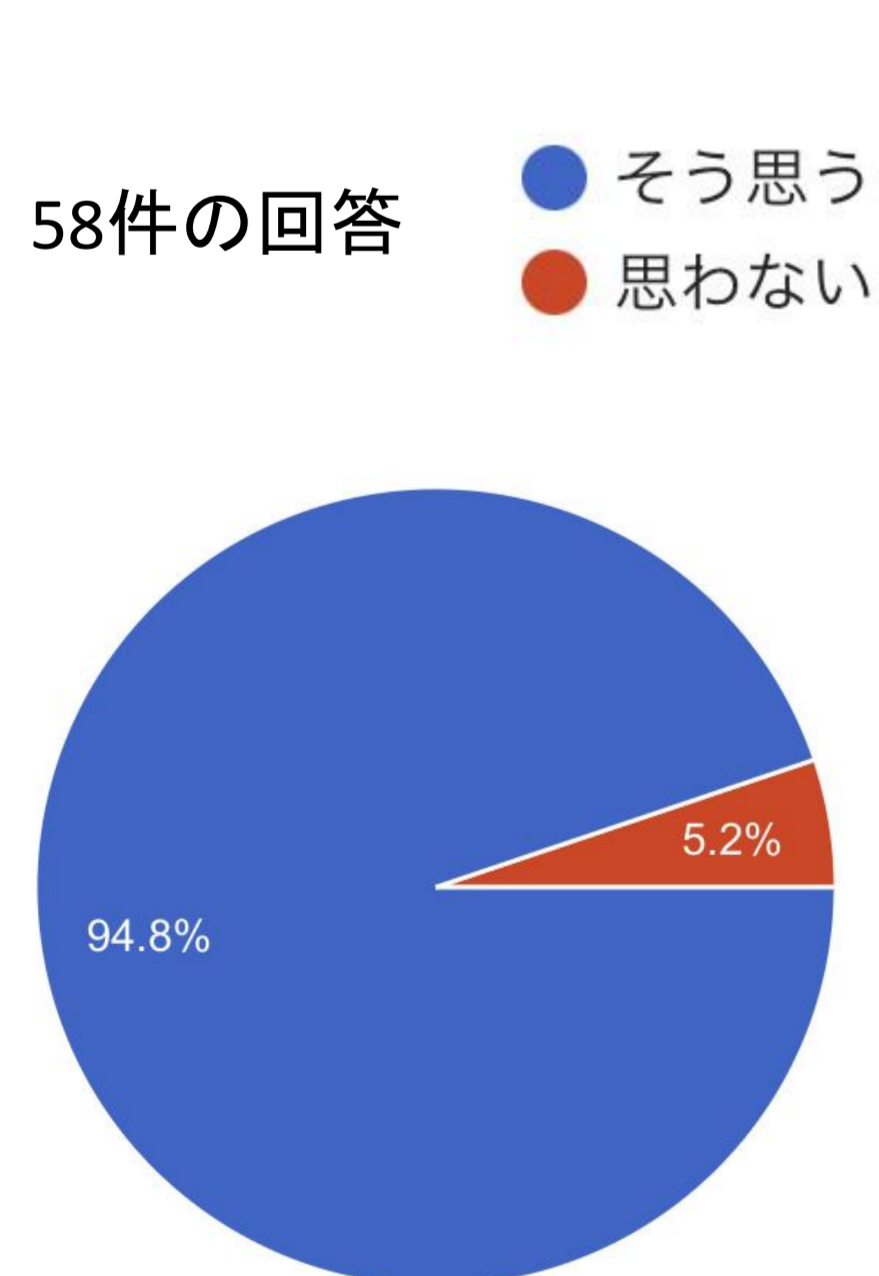
Q1 **こうのとりのゆりかご**を知っている



Q3 子どもを**こうのとりのゆりかご**に預けることについてどう思うか



Q2 国内で**こうのとりのゆりかご**を増やすべきか



### 理由

- ・育児放棄が少なくなると思うから
- ・虐待される数が少なくなると思うから
- ・生まれてすぐ世話をされずに亡くなるという事件をよく見かけるから
- ・捨てられたり病気になる子供を減らしたから
- ・子供のいき場所をつくるため
- ・亡くなってしまう赤ちゃんを減らしたいから
- ・全国にも子供を育てきれない親がいるから
- ・望まない妊娠をしてしまった人が困るから
- ・身近に施設がなくておろす決断してしまう人が、より助ける事ができる命を増やしたいから

### 理由

#### 賛成

- ・命が救われるかもしれないから
- ・どうしても育てられない理由があるなら仕方ない
- ・生まれてきた赤ちゃんに罪はないから
- ・捨てられる様な環境ならいい環境で過ごせた方がいいと思うから
- ・墮ろす事ができずに生まれてきて十分な環境で育つ事が出来ない子を救う一つの手段だと思うから

#### 反対

- ・やっぱり自分の子に対して責任を持って欲しい
- ・産んだのは自分なのに育てる人は自分ではないと言う事は中途半端だと思うから
- ・もし自分が赤ちゃん側だとしたら、やはり生みの親に育てられたいと思う

### 結果②

虐待には殴るなどの**身体的虐待**や性的行為などの**性的虐待**、食事を与えないなどの**ネグレクト**、暴言などの**心理的虐待**の4つがあります。

下の資料から近年、児童虐待数と虐待死は増加傾向にあるということが分かります。最新の情報では令和3年度の児童虐待対応件数は207,659件で**過去最多**となっています。

また現在行われている対策としては、妊娠・出産・子育てに関する相談がしやすい体制の整備や地域の子育て支援サービスの充実などがあります。

このような活動が行われているにもかかわらず虐待は減少していません。

今後、虐待数を減らすためにはより一層対策を強化し、新しい改善策を考える必要があります。



## 考察 (Discussion)

結果から全体的に「**こうのとりのゆりかご**」を支持している人が多いことが読み取れます。そのため、「**こうのとりのゆりかご**」は全国に増加するべきという結論に至りました。近年増加している「**児童虐待**」や「**児童遺棄**」は「**こうのとりのゆりかご**」が全国に増加することにより減少すると考えられます。小さな子供の命をすこしでも多く守るためにも、**こうのとりのゆりかご**に預けるということは重要な選択肢の中の一つだと考えます。今回の探究で、単に「**こうのとりのゆりかご**」が抱える課題だけでなく、子どもの養護に関するさまざまな問題も見えてきました。次はこれらの課題に対する取り組みを考えていきたいです。

## 参考文献 (Reference)

- <https://www.orangeribbon.jp/info/npo/2022/09/-3.php>
- <https://www.asahi.com/sp/articles/photo/AS20210827000703.html> (結果②資料)
- [https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c\\_id=5&id=36001&sub\\_id=1&flid=256222](https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=36001&sub_id=1&flid=256222)
- <https://kumanichi.com/articles/650411>

## 謝辞 (Acknowledgments)

アンケートに協力してくださった皆さん、ありがとうございました。